

日本画部門

審査員：竹内 浩一 先生

京都府出身 京都市右京区在住

1977年 第4回山種美術館賞展 大賞受賞
1979年 第11回日展 特選受賞
1991年 第4回京都美術文化賞 受賞
1996年 第9回MOA美術館 岡田茂吉大賞展 大賞受賞
2010年 京都市文化功労賞 受賞
現 在 一般財団法人日本中国文化交流協会 常任委員
山種美術館 理事

<総 評>

絵は理屈ではなく気がつけば夢中になって描いている。今展をみてもイマジネーションをはたらかせ感動のある作品が描かれていた。日本画の基底材は魅力がある。入選された作品に顔料への思い入れと、美しい発色の悦びが伝わってきた。



■ 市展賞 ■

「屋なみの中に」 本田 充

曆もみてきたであろう。つらなる屋根瓦の町並を静寂がつつんでいる。人の存在を深く問いかけてくるようだ。



■ 特選 ■ <NHK大津放送局長賞>
「私の作ったんにく」 北村 登久

作者が収穫したニンニクをたばね描いている。白い実はリズムに躍動しマチエールは魅力にあふれている。



■ 特選 ■ <平和堂財団理事長賞>
「追懐」 北村 妙子

柔らかい色調で藤の花が描かれている。作者の暖かい心馳せが伝わって魅入ってしまう。花をつつむ黄土の空間も穏かだ。



■ 特選 ■ <中日新聞社賞>
「薔薇」 曾我 光博

画面に漂う空気は緊張感がある。ダークな背景にピンクのバラの花が浮かぶ。実に端正な作品だ。



■ 無鑑査奨励賞 ■
「冬枯れの湖北」 谷村 純子

沈むような湖畔の一景だが、イメージで十分に構図が練られ、深い孤愁を感じさせる好作になった。

日本画部門

展示場所：第1・2研修室（メッセホール棟 2階）

No.	賞	題 名	氏 名	備 考
1		木立ベゴニア	藤野 和子	
2		雪の朝	北岸 久代	
3		花がさいた！	青山 宏子	
4		秋の陽ざし	早崎 清美	
5		花待ち季	松本 喜美	
6		梅の香に誘われて	杉本 ミサエ	
7		筍	大村 千代子	
8		庭陰のハーモニー	澤邊 雅子	
9	佳 作	街・銀座	小島 充子	
10		土に生きる	長谷川 みよ	
11		静寂	堀居 千恵子	
12		石畳（けやき並木）	いとう けいろう	
13		薔椿	山田 政一	
14		わさび畑	長崎 典子	
15		ひまわり	中山 ます江	
16		芸妓さん	日永 清重	
17		伊吹山	北村 幸子	
18		豌豆	平松 越	
19		ナンキンハゼと…（箕面）	志摩 まゆみ	
20		くず	馬場 初代	
21		錦鯉	小澤 弘	
22		菜の花	石原 みち子	
23	特 選	薔薇	曾我 光博	中日新聞社賞
24	市 展 賞	屋なみの中に	本田 充	
25	特 選	私の作ったにんにく	北村 登久	NHK大津放送局長賞
26		AYUMI	牧野 昌代	
27		青木	滝沢 千代子	
28		銀杏の木	今居 桂子	
29		高宮宿	高田 昭子	
30		薔椿	長谷川 祐子	

No.	賞	題名	氏名	備考
31		つる薔薇	竹内 歌子	
32		麦のかげ	成内 節子	
33		鶏頭	山岡 勝	
34		秋桜	杉本 恵美子	
35		春、塹	松居 直子	
36		葦	丸山 リツ子	
37		竹藪（愛知川堤防）	澤 淑子	
38	特選	追懐	北村 妙子	平和堂財団理事長賞
39	佳作	花園	荒居 年子	
40		こも（彦根城いろは松）	立江 恵美	無鑑査
41		夏の朝	熊谷 滋美	無鑑査
42	無鑑査奨励賞	冬枯れの湖北	谷村 純子	無鑑査
43		音のゆくえ	竹内 浩一	審査員
44		いちご	寺村 晴雄	委嘱
45		孤独の家	眞野 康光	委員
46		穏やかな日和	深田 澄江	無鑑査

